



神川町ゼロカーボンシティ宣言

地球温暖化は、人類の生活基盤に関わる重大な環境問題の一つであり、その原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制は、世界共通の課題となっています。地球温暖化による気候変動の影響により、近年各地で猛暑、豪雨、台風などの気象災害が頻発しており、その脅威は町民生活にとりましても身近な問題となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をする」との目標が国際的に広く共有されました。

その後、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要がある」ことが示されました。

そして、政府は、この目標に向けて2020年10月、「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」と表明しました。

本町でも、この目標達成に向け、町が有する緑豊かな自然環境を後世に引き継ぎ、「未来につなぐ 住みよい神川」を実現するため、町民、事業者の皆さまとの協働で地球温暖化対策を進め、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和6年3月5日

神川町長

櫻 澤 晃